

# 立山信仰の世界と立山の自然を通じて 日本の文化や歴史への理解を深める

万葉の時代から神の山として崇められてきた立山。平安時代以降、仏教と融合して独特の信仰体系を確立してきました。立山博物館が位置する立山山麓・芦峯寺(あしくらじ)は、かつて立山信仰の拠点集落でした。現在でも雄山神社や閻魔堂、嬭堂(うばどう)基壇、

石仏群などがあり、立山信仰の原風景を成しています。立山博物館は、これらの歴史的遺構を有機的に結びつけた広域分散型博物館で、「立山の自然と人間の関わり」をテーマに、様々な調査・研究の成果を紹介しています。

# 立山における人と自然との関わりを学ぶ



展示館



展示室



布橋灌頂会 (ぬのぼしかんじょうえ：立山が女人禁制だった江戸時代に、極楽往生を願う女性の救済のために営まれた儀式)



まんだら遊苑

見どころ  
学びどころ

1

## 展示物や資料から立山信仰と立山の自然を学ぶ

富山県の精神的シンボルであり、日本人の思想体系にも影響を与えた立山について、映像やジオラマ、復元を通じて体感し、立山信仰の精神世界についての造詣を深めます。

見どころ  
学びどころ

2

## 少人数グループによる調査を行う

少人数グループでテーマを設定して、博物館施設や歴史的遺構がたたずむ広大な芦峯寺周辺を散策・調査することで立山の歴史や文化・人々の暮らしについて学ぶことができます。  
【テーマ例】立山信仰の儀式、立山の自然、『立山曼荼羅』を体感する、ちょっと昔の登山について、など

### 事前学習のポイント

- 山岳信仰とは何か調べる
- 現在の立山はどのような場所か調べる



### 現地学習のポイント

- 展示物や資料から、立山信仰の歴史や文化について学ぶ
- 少人数グループでの調査で理解を深める



### 事後学習のポイント

- 『立山曼荼羅』に込められたメッセージについて考察する
- 立山信仰の精神世界と現代生活の関わりを話し合う



## information

### 【立山博物館】

〒930-1406 中新川郡立山町芦峯寺93-1  
☎(076)481-1216 FAX(076)481-1144  
●開館時間 9:30~17:00(入館は16:30まで)  
●受入期間 通年(まんだら遊苑は12/1~3/31まで冬季休苑)  
●休館日 月曜(祝日の場合開館)、祝日の翌日、年末年始(12/29~1/3)

- 定員 160人程度
- 所要時間 約2時間30分(展示館50分、山岳集古未来館10分、遙望館40分、まんだら遊苑50分)
- 体験料金 無料(学校教育で利用する児童・生徒とその引率者、「観覧料免除申請書」の提出要)
- 駐車場 有【団体バス(50人乗り)10台(応相談、周辺施設駐車場の利用可)】
- アクセス 立山ICから車で30分